平成30年度　第1回常任理事会議事録

開催日時：平成30年11月17日（土）　　　　10:00～12：00

開催場所：山口県総合保健会館3階　技師会事務所

出席者：三輪光良　堀　健司　小田真一郎　河村裕介　齋藤茂治　大平知之

佐野裕一　山本公志

　以上、定款第35条・38条の規程により構成員の過半数の出席で常任理事会は成立。会長 三輪光良が議長となり、定款第35条に基づく出席者の中より、議事録作成人として山本公志常任理事、議事録署名人として小田真一郎副会長と大平知之常任理事を選出した後、次の議案を付議した。

1. **原子力災害時緊急連絡網について**

三輪会長：現在、原子力災害緊急連絡網が現実的ではない。先日、吉永会員、松永会員、田辺会員と4名で原子力災害時についての協議会を開催した。現状では、災害発生時、県から山口県診療放射線技師会事務所（以後、事務所）に連絡が入り、事務所から会長へ連絡が来るようになっているが、休日や夜間に災害が起こった際には、事務所には誰もいない。災害が起こってすぐに出動要請ということはないと思うので対応は週明けでも良いとは思うが、連絡だけは私のところに入るようにしたい。そこで平日、夜間、休日ともすべて私の携帯電話か職場に連絡をもらう方向で進めていきたい。Faxについては事務所のままで良いと思う。私から吉永、松永、田辺会員に連絡し、その下にサーベイヤーの目的で数名を置く。以前お願いしていた方々の任期が切れたので、山口核医学検討会から何人か出してほしいと依頼している。それが決まれば、災害時のスタッフとし、新たに連絡網を作成したい。県の防災事業で愛媛県伊方原発の事故対応となる。伊方原発から30㎞以内の上関町八島の住民二十数名が県内の対象となるので、そんなに多くのスタッフは必要ないと考えている。

原子力災害時についての協議会をおこなった際、派遣者の身分保障を県として考えてもらえないかという意見が出たので、県との協定の中にこれを入れていただくよう、県にあげていこうと考えている。

原子力災害緊急連絡網を新たに作成する。

原子力災害時派遣者の身分保障を県に考えていただくよう提案する。

理事会検討事項とする。

1. **県知事表彰ついて**

三輪会長：齋藤常任理事に用意していただいた別紙のとおり5名の方を推薦したいと思う。推薦書は近々書くが、異論がなければこの方々で進めさせてもらう。全員一致で県知事表彰の候補者は認められた。

県知事表彰の推薦者5名を全員一致で認められ、理事会検討事項とする。

1. **顧問について**

三輪会長：以前より山口大学医学部放射線医学講座教授に顧問になっていただいている。このたび着任された伊東克能教授ご本人に顧問就任をお願いをし、了承をいただいた。理事会の承認を得て顧問になっていただきたい。

全員一致で伊東克能教授顧問就任の理事会議案は認められた。

第6回理事会にて山口大学医学部医学講座　伊東克能教授　顧問就任を理事会議案とする。

1. **講習会の非会員参加費について**

三輪会長：現在、講習会で非会員の参加は1,000円の参加費を徴収している。

他県（山口県診療放射線技師会非会員）からの参加というのを想定していなかった。先日のナイトセミナーでは、2名県外から参加され、山口県診療放射線技師会会員ではないため参加費をいただいた。今後は内容によって勉強したい方は受け入れたい。

大平常任理事：ナイトセミナーでは、広島県の方が2名参加され、1名はJART会員で広島県技師会会員、もう1名はJART非会員で広島県技師会非会員であった。

三輪会長：中・四国他県の状況は、会員、非会員で差をつけているところもある。500円から2,000円で非会員から参加費を徴収している。ただし、どこの県も他県からの参加は想定していないとのことだった。

本会はJARTとの業務委託（JART入会の手続きや事務処理）契約をしていて、会員一人あたり（9月30日現在で会費を払っている者に対し）JARTより200円いただいている。講習会では、JARTのカウントを付けているので、JART会員であれば、業務を一緒にやっているという考えのもと、JART会員は参加費を無料にしても良いのではないか。

小田副会長：講習会の非会員参加費1,000円というのは明文化されているのか。

三輪会長：規程には明文化されていない。規程を改正しなければならない。

河村常任理事：金額については、理事会にて決定しなければならない。

三輪会長：方向性としては、JART会員からは参加費を徴収しないということにしたい。

河村常任理事：総会や講習会の非会員参加費収入で毎年1万円程度はある。

三輪会長：他県では、他業種（医療系）の方も参加費を徴収していない。

堀副会長：講師の関係者についても参加費を徴収しなくてもよいのではないか。

第6回理事会にてJART会員とその他医療従事者は参加費を無料とすることを理事会議案とする。

理事会承認されれば規程を改正し、非会員の参加費等を明文化する。

1. **広告費契約の内容について**

三輪会長：趣意書の文言に「やまぐち健康フェスタへの参加」というのがあるが、やまぐち健康フェスタはおこなわれないので、この文を削除したい。

三輪会長：広告費をいただいて、会誌の後ろに少しの掲載だけでは申し訳ない。会誌掲載以外に掲載料別に何かオプション特典を付けてあげたい。

河村常任理事：以前にも話が出た。講習会報告の横に企業の宣伝を入れるというのがあったと思う。

三輪会長：例えば広告を載せていない企業が講習会で、話をさせてほしいといった場合、スポット広告料は取れないのか。

河村常任理事：広告料より賛助会員の方が支出しやすいという企業があった。

三輪会長：広告料は、会誌の目的のみにしか使用できないのか。

河村常任理事：広告料は、公益になるので事業費として使用できる。会誌が公益事業となるためである。賛助会員となれば会費収入と同じになり、一般財源になる。

堀副会長：その方が今後のためにはよいのではないか。

三輪会長：賛助会員をつくるには規約の会員定義改正をしなければならない。また定款にもかかわってくる。方向性としては、賛助会員を認める方が将来的にはよいと思う。

堀副会長：賛助会員について、他県の状況を調べ、研究、検討ということとしたい。

三輪会長：広告料をいただいている企業がセミナーを開催したときに、山口県診療放射線技師会が後援していない研修会ではあったが各施設にFAXで案内を送ることとした。そのようなオプション扱いで広告料をいただいている企業には、協力してもよいのではないか。広告料をいただいている企業には、後援扱いに準じた支援が受けられるメリットがあっても良いのではないか。

広告掲載趣意書の「やまぐち健康フェスタへの参加」の一文を削除する。

賛助会員について他県の状況を調べ、研究、検討とする。

広告掲載している企業について、後援に準じた支援を受けることができることとし、来年度の広告掲載のお願いに明文化する。

以上を理事会検討事項とする。

1. **共催・協賛・後援取扱規程の一部変更について**

三輪会長：共催・協賛・後援取扱規程を運用しているが、その中に責任の所在が書かれていない。後援した団体が事故を起こしたときに、こちらに責任がくるようなことがあってはまずいので、そこは一文入れておきたい。

松山市の規程に留意事項の文があり「松山市の後援名義の使用については、経費に関するすべての問題、開催中の事故、不測の事態についての責任は、主催者で負っていただきます。」とある。共催で一緒におこなった場合はしかたがないかもしれないが、後援に関してはその一文を加えたい。

堀副会長：規程だけではなく、協賛・後援を依頼された文章に対して、承諾の返書にもこの文章を入れておく必要があると思う。

共催・協賛・後援取扱規程について、協賛・後援について責任の所在を明確化した文章を追加する。また、承諾の返書にも主催者で責任をもってもらう旨の文章を加える。文章については、三輪会長が作成する。

以上を理事会検討事項とする。

1. **公益事業予算について**

河村常任理事：全国大会研修費21万の予算に対し、132,480円しか支出しておらず、77,520円ほど別の事業で支出しなければならない。

また地域講習会の支出状況は、萩長門地域が約1万円、宇部小野田地域が16,700円、岩国地域が11,000円、合計で4万円弱の支出で、このままでは今年度予算の12万円を達成しない状況である。

ここ数年、公益事業費を計画より20万円程度多く支出していたのでよかったが、昨年は計画を下回ったので、今年は何としても事業費を294万円以上支出しなければ、計画変更を出さなければならなくなる。

全国大会研修費が予算21万円のところ132,480円だったのは致し方ないが、次にどうするかというのが課題である。女性サミットも予算額の45,000円に満たないようであるが、交通費なので無理に支出するという訳にはいかない。

大平常任理事：春季講習会で講師を3名予定している。交通費と講師料を試算し、残った金額を考え会場を選択したい。

堀副会長：特別会計を調べてみてはどうか。目的（来年度の式典）のための特別予算として毎年積み立てるのは可能か。

河村常任理事：公益目的資産にあたるようにして、公益目的資産を割るようになる。確認はするが、毎年提出している県の報告に理由を書くことになっている。

堀副会長：単年度ごとに294万円をクリアしなければならないわけではない。今年度7万円支出が少なかったものを来年度にまわすのはどうか。

河村常任理事：このままいくと計画が達成できないが、「来年度の式典に費用がかなりかかるので、今年度の残りの予算を来年度の式典予算にまわす」と書けば、たぶん大丈夫だと思う。しかし、毎年使い道に困っているので同じことなのかなとも思う。

堀副会長：そうすれば、来年度の式典予算が楽になるのではないか。

河村常任理事：来年度は全国研修費（21万円）が必要なくなるので、式典に充てようと考えている。

堀副会長：毎年、学術委員が講師を見つけにJRCに行っているが、その回数を増やしてはどうか。春だけではなく、秋のJRCやJARTにも参加させてはどうか。

河村常任理事：あまりやりすぎるのもよくない。まだ11月なのでもう少し使い道を考えられる。あとは、理事会で予算を修正するかどうかというのもある。補正予算で理事会に出すか、学術で少し予算を多めに検討していただく。

大平常任理事：胃がん部会がもう1回あるので、そちらでも予算を検討して使う必要がある。

理事会にて、地域講習会を必ずおこなうようお願いする。また、地域講習会と胃がん部会と春季講習会で少し多めに予算を使ってもらうようお願いする。全国学会があれば検討していただき河村常任理事に相談していただくようお願いする。

1. **第34回全国学会での山口県診療放射線技師会の支出について**

堀副会長：全国学会開催にあたり、山口県と下関観光コンベンション協会より助成金をもらうために学会参加者の宿泊証明がいるということで、その作成をコピー機でと考えたが印刷に必要なトナー代が2万円位かかりそうだったので、業者に印刷代の見積もりをとったところ1万円代だったので印刷業者に作成を頼んだ。山口県診療放射線技師会も共催なので、印刷代1万円を技師会から支出している。

健康フェスタ関係者の交通費については、健康フェスタを担当する実行委員の交通費（29,980円）は山口県診療放射線技師会が支出し、旅費雑費を大会経費から支出している。

河村常任理事：宿泊者証明アンケートの印刷1万円を技師会の事業費として計上するのは難しいので全国大会経費から支出することは難しいか。

堀副会長：全国大会経費から支出することとする。

健康フェスタ実行委員交通費29,980円は事業費として技師会より支出。

宿泊者証明アンケートの印刷代1万円については、全国大会経費から支出してもらう。

1. **70周年記念式典ついて**

三輪会長：70周年記念式典の案を作成した。

タイトルは「70周年記念行事」とする。記念講演、記念式典、記念祝賀会の一連のものを記念行事と総称したい。記念式典を行って、記念講演をして記念祝賀会というのがよく見かける流れであるが、来賓を式典に呼んで、講演をして祝賀会をすると、来賓の拘束時間が長くなってしまので、記念講演、記念式典、記念祝賀会の順番で開催してはどうか。

記念講演のJART中澤会長は、今日決定すれば案内を送ろうと考えている。決まれば記念講演Ⅰに入れたいと思う。中澤会長が講演をしていただければ、旅費宿泊費はJARTの支出になる。講演費も不要である。

講演Ⅱは、京都大学医学部附属病院　技師長の上田克彦さんにお願いしたい。

講演Ⅲは、道の駅　萩しーまーと駅長　山口　泉さんで、許可はいただいている。

河村常任理事：萩しーまーと駅長は、公務員か。

三輪会長：一般企業である。

大平常任理事：講演Ⅲは、公開講座となるのか。

三輪会長：公開講座でも良いと思っている。

河村常任理事：費用は按分していくことになるのか。

三輪会長：会は3つに明確に分ける必要がある。会場費は、時間で分けることができる。

三輪会長：記念講演、記念式典、記念祝賀会の順番でよいか。講演は、30分ずつで1時間30分と考えている。次の日が総会なので、例年の役員会を記念講演の前におこなう。13時開始なら15時の受付に間に合うのではないかと思う。例年の総会前日準備は、総会当日の朝では間に合わないか。

河村常任理事：総会の開始時間を遅くしてはどうか。

大平常任理事：遅くとも10時30分開始位にすれば、総会当日朝でも準備は可能だと思う。

三輪会長：朝準備の方向で考えてほしい。

堀副会長：準備に時間がかかるのは、プロジェクターとスクリーンと横断幕の設置と受付周りで、横断幕は、専門の人がいると思うので、その人たちが準備の時間に来てくれるかの確認が必要だ。

全員一致で記念講演、記念式典、記念祝賀会の順番は、認められた。

三輪会長：記念式典の進行は、開会の辞、主催者挨拶、祝辞、来賓紹介、祝電披露、表彰、感謝状、閉会の辞でいこうと思う。

堀副会長：前回（60周年）と同じ進行でよいと思う。

三輪会長：表彰は先ほど話がでた5名で、受賞者代表謝辞は、山内前会長にお願いしたい。

三輪会長：感謝状は、ずっとメーカーさんに送っているが今回はどうするのか。前回は10社程度感謝状を贈っている。メーカーに感謝状を贈るのであれば何社にするか、どこのメーカーにするかを決めなくてはならない。

河村常任理事：過去10年の定期講習会などでご協力いただいた企業に感謝状を贈るのがよいのではないか。

小田副会長：加えて、前回もそうだったように広告費を多く出していただいた企業にも贈るのがよいのではないか。前回と同じ企業に贈っても10年間の感謝を表すので良いと思う。

三輪会長：5社程度で、小田副会長に選定をお任せする。

感謝状を贈る企業の選定は小田副会長が任され、全員一致で認められた。

三輪会長：記念祝賀会では、乾杯を伊藤實穂元会長、閉会の挨拶を山内秀一前会長にお願いしたいと思う。

三輪会長：祝賀会の会費は幾らにしたらよいか。前回の祝賀会は、会費で飲食等すべてまかなえていた。前回の会費は会員以外1万円で、会員は6千円だった。

経費としては、会場費と講演料が2名分、あとは飲食代となる。

三輪会長：今回の祝賀会食事代が飲み放題込みで6千円程度なので会員会費を6千円、会員以外の会費を1万円とする。

三輪会長：責任者として受付担当　佐野理事、山本理事、来賓担当　堀副会長、控室担当　小田副会長、特別講演担当　大平理事、記念式典担当　河村理事、祝賀会担当　齋藤理事、表彰担当　東理事、でお願いしたい。司会担当は丹羽理事で、式典司会を楠本事務員にお願いしたい。

全員一致で認められた。

三輪会長：祝辞は前回と同じく、山口県知事　村岡嗣政、山口市市長　渡辺純忠、山口県医師会会長　河村康明、JART会長　中澤靖夫でよろしいか。

全員一致で認められた。

三輪会長：来賓紹介は議員、医療団体、中四国診療放射線技師会会長の順で紹介をする。次に祝電披露、そして表彰の流れになる。

全員一致で認められた。

齋藤常任理事：記念祝賀会の司会は誰か。

三輪会長：式典から続けて、丹羽理事にお願いしたい。

名称を「70周年記念行事」とする。

記念行事は、記念講演、記念式典、記念祝賀会の3部構成で、この順番とする。

記念講演の内容は講演Ⅰ:JART中澤靖夫会長、講演Ⅱ:京都大学医学部附属病院 上田克彦技師長、講演Ⅲ:萩しーまーと山口　泉駅長とする。

記念式典は、開会の辞、主催者挨拶、祝辞、来賓紹介、祝電披露、表彰、感謝状、閉会の辞の順番とする。

感謝状贈呈のメーカーは5社程度とし、選定は小田副会長がおこなう。

会費は、会員6千円、非会員1万円とする。

責任者は、受付担当：佐野、山本　来賓担当：堀　　控室担当：小田　特別講演担当：大平　記念式典担当：河村　　祝賀会担当：斉藤　表彰担当：東　司会担当：丹羽　式典司会：楠本とする。

以上を理事会検討事項とする。

1. **議事録作成期間について**

堀副会長：最近、議事録が出来上がるのが遅い。会議が終わったら会員に早く伝える義務があるので、2週間を目途に作ってほしい。その後で、会長、副会長のチェックをおこなう。

議事録作成の期限を2週間とすることを理事会にて報告する。

一般社団法人山口県診療放射線技師会　平成30年度　第1回常任理事会

議事録作成人　山本　公志

会長　　　三輪　光良

議事録署名人　　小田　真一郎

議事録署名人　　大平　知之